

2020年2月3日

各位

興和株式会社

日本の胃腸を守り続ける胃腸薬  
**キャベジンコーワ 発売 60 周年**

興和株式会社（本社：愛知県名古屋市中区、社長：三輪芳弘）の胃腸薬「キャベジンコーワ」は、2020年2月1日をもって発売60周年を迎えました。

キャベジンコーワは1960年に発売以来、荒れて傷んだ胃の粘膜を修復し、正常な状態に整える有効成分MMSC（メチルメチオニンスルホニウムクロリド）を特長成分として配合してまいりました。一方で、食生活の欧米化といった社会環境の変化やそれぞれの時代における生活者のご要望に応じて、MMSCの増量や、健胃生薬・消化酵素剤といった配合成分の変更を行うなど、処方改良を続けてまいりました。



現在発売中の「キャベジンコーワα」（第2類医薬品）は、胃の働きを良くしていく生薬ソヨウを配合し、動きの鈍った胃を元気に動かし、正常な胃の働きを取り戻していきます。分包の顆粒タイプで、携帯して持ち運ぶこともできる「キャベジンコーワα顆粒」（第2類医薬品）やコンビニエンスストアなどでも購入できる「キャベジンコーワ胃腸錠」（指定医薬部外品）などもラインアップしています。

## ■キャベジンコーワ テレビCMの歴史

キャベジンコーワのテレビCMの歴史を振り返ると、数多くの著名人にご出演いただいております。テレビCMがスタートしたのは1961年。そして1969年からは森繁久彌さんに約15年という長きにわたり、ご出演いただきました。どの作品も大変印象深いものですが、初めてご出演いただいた作品の、

「胃の薬、そりゃ人によっていろんなこと言う人がいますが、でもね、キャベジンは効くね！」  
現在のキャベジンコーワブランドが確立できたのも、森繁久彌さんから発せられた、このメッセージのおかげであったかもしれません。



現在のテレビCMには常盤貴子さんにご出演いただき、胃袋を修復しながら、元気な胃を取り戻していくキャベジンコーワの特長を発信していただいています。



日本は平成から令和の時代となり、世界に類を見ない少子高齢化と人口減少の局面を迎え、その時代をどのように乗り越えていくかが重要な課題となっています。興和は「世代を超えて日本の胃腸を守り続ける胃腸薬」として、時代に合った「キャベジンコーワ」の開発・発売を通じ、「日本型セルフケア」推進に貢献してまいります。ぜひご期待ください。

## ■キャベジンコーワ 豆知識

### 開発の経緯

1940年、キャベツに含まれる有効成分MMSCの胃潰瘍予防作用が米国で発見されたことから、キャベジンコーワの開発は始まりました。興和はこのMMSCの胃粘膜修復作用に着目し、同成分を主成分とする胃腸薬の開発を推進し、1960年に初代「キャベジンコーワ錠」を発売いたしました。

### 名前の由来

『キャベツに含まれる』という意味の英語「cabbage in (キャベッジ イン)」を転じて「キャベジン」と名づけられました。

## 錠剤の構造とその特長

外層と核錠との二層構造にすることで、各有効成分が効果的に働きます。



胃に入ると、まず錠剤の外層が溶け出します。



外層の制酸剤が出過ぎた胃酸を中和し、胃の痛みをやわらげます。

また、胃酸を中和することで、消化酵素が働きやすい環境をつくります。



内層の核錠がゆっくりと溶け出します。



ロートエキス、消化酵素等の各有効成分が、より効果的に働きます。

MMSCとソヨウ、センブリが協力して働き、弱った胃を元気にしていきます。

**製品サイト URL** <https://hc.kowa.co.jp/cabagin/>

### 製品のお問い合わせ

興和株式会社 お客様相談センター TEL:03-3279-7755

### その他のお問い合わせ

興和株式会社 広報部 TEL:03-3279-7392